

緑の相談所だより

—第77号—

2002. 8. 1発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所 ☎65-5553

来年に向けての球根の植え付けと草花の鉢上げ

日時 9月8日(日) 午後1時半～3時半

講師 旭川市緑の相談所
相談員 佐藤吉光

定員 50名 参加料 無料

講

習

会

秋から冬への鉢物管理

日時 9月22日(日)
午後1時半～3時半

講師 旭川市緑の相談所
相談員 佐野元雄

定員 50名 参加料 無料

植物豆知識

Abelmoschus
esculentus

アオイ科 トロロアオイ属
和名 アメリカネリ
原産地 東北アフリカ

オ
ク
ラ



ハイビスカスやフヨウと近縁の仲間で、早朝に咲き午後にはしぼむ黄色の半日花をつける。

暑さに強いが寒さに弱く、霜にあうと枯れる。

アメリカ合衆国に18世紀に入り、南部地方に栽培が多い。

わが国へは江戸時代末期に渡来したが、第2次大戦後に急速に普及した。

オクラの粘質物はベクチン、ガラクトン、アラバンなどの混合物でビタミンB₁が多い。おひたし、味噌汁、すまし汁、スープ、シチューの具、バター炒め、てんぷら、煮物にしてもよい。

そっくりだね!



秋植え球根の植え方

1. 植えつけ時期

- (1) 9月中旬～下旬ころ→スイセン、コルチカム、クロッカス、シラー、早咲きのユリ（透かしユリの系統、テッポウユリ）など
- (2) 9月中旬ころから10月いっぱいぐらいの間→チューリップ、ヒヤシンス、ムスカリ、スノードロップ、ユリ、クロユリ、アリユーム、ギガンチューム、ダッチアイリスなど

2. 植え方I・・・庭植えの場合

- (1) よい球根の選び方→大きくて重いもの、張りのあるもの、表面に傷や病気・カビのついていないもの
- (2) 植え場所→日当たり、水はけのよい所に。水はけの悪い所は植え床の土を盛り上げて植える
- (3) 植え床作り（1m² 当たり）
 - ①施肥量→苦土石灰をひとつかみ+完熟堆肥、腐葉土、ピートモスなどを5kg+緩効性肥料かマグアンプKなどをふたつかみ+油粕、骨粉を同量混ぜたものを両手で1～2杯。
 - ②①を全面散布した後、チューリップなら20～30cm、ユリなら30～40cmくらいをスコップ等で起こし土とよく混ぜる。
- (4) 球根を植える深さと間隔
 - ①深さ→球根の高さの約3倍

- ②間隔→一般的に球根と球根の間に2～3個入るくらい
※なお、チューリップは下図のように植えると葉の向きがそろってきれいに見える

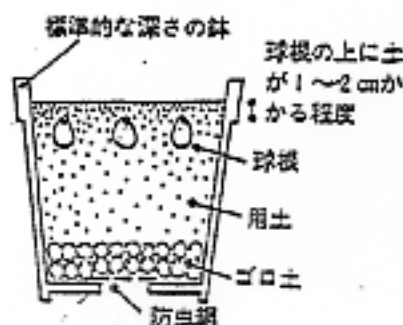


3. 植え方II・・・コンテナ植えの場合

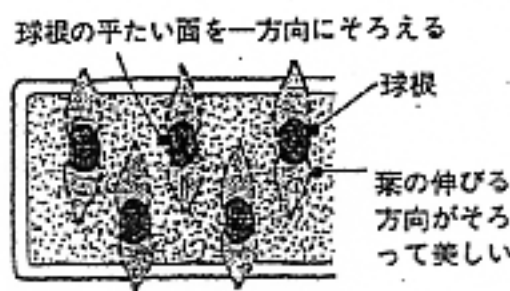
(1) チューリップなどの場合

- ①球根の頭が土の表面すれすれの浅植えにする。②球根1～2個分の間隔をあけて植える。（5～6号鉢に3球を目安に、プランターでは8cm間隔くらいに植える。③用土は庭土にピートモスを2～3割混ぜたものか、赤玉土7、腐葉土3くらい混ぜたものを使う。④肥料は鉢底にマグアンプKなど少し混ぜる。他の肥料を入れない方が無難。（球根が太れないので来年の花は期待できない）⑤寒さにあうことが必要なので雪の下で越冬させる。（球根が凍らないよう鉢ごと庭に埋めておくとよい）

A. 5～6号鉢に植える場合



B. プランターに植える場合



8月9月の園芸作業

—— 夏から秋に向けて ——

草花、球根類

- ・花壇のペチュニア、ペコニア等の咲きがらと枯葉を丹念にとります。伸びすぎた茎を切りつめると秋になってまた花を楽しめます。水やりは十分に、肥料は8月中旬に1回化成肥料を少量。10月に入ったら株を短く刈り込み、鉢に植え室内に取り込み明るい窓辺に置きますと冬も花を楽しめます。
- ・ユリは2～3年は掘り上げ植え替え不要。掘り上げる場合は秋遅く茎葉が枯れ鱗茎が最大限に肥ってから、仔球と親球を選別し根が乾かないうちに植え込みます。
- ・ダリア、カンナ等春植え球根は霜が来て葉が枯れるまで育て球根を肥らせます。掘り上げたら表面を1度軽く乾かし、低温でまた干からびないようにして貯蔵。
- ・陰干ししてあったチューリップ、ヒアシンス、ムスカリ、スイセン等の秋植え球根は9月末に植込みを済ませます。
- ・鉢植えアマリリスは降霜直前まで戸外で育てた後、葉を切り取り球根を新しい鉢に植え替え、凍結しない程度の寒いところで保管します。

室内鉢物の室内取り込み

- ・クンシラン、アザレア、デンドロビウム等は降霜直前まで戸外で育てます。肥料は8月中で打切り。室内に取り込んだ後は水を控え10℃以下の部屋に置きます。
- ・戸外に置いたハイビスカス、ブーゲンビリア等は秋の寒さで落葉したら若い枝を短く剪定し、明るい暖かい窓辺に置きます。
- ・ポインセチア、シャコバサボテン、カランコエ等は秋早めに室内に取り込み、10月に入ったら短日処理開始。

果 樹

- ・ブドウのつるは8月中旬以降になってから先を摘みます。腋芽は常時摘んでおきますと混みすぎにならずに済みます。
- ・ナシ等に多い真っすぐ上に勢い良く伸びる徒長枝は、常時根元から切り取ります。
- ・肥料は8月に入ったら施してはいけません、冬の枝枯れの原因になります。収穫落葉後に根先の部分に有機質肥料を施し中耕します。

野 菜

- ・秋大根等秋野菜の種まきは遅くとも8月上旬には済ましておきます。
- ・ニンニク、ラッキョウの種球植えは8月中旬から
- ・イチゴの苗定植、植え替えは8月中旬から
- ・トマトは8月中旬頃開花中の花房の先の葉3枚残し摘芯。老葉、枯葉はとります。

バ ラ

- ・8月上旬に剪定すると9月中下旬に見事な花が咲きます。
- ・剪定は若く充実した枝の元から3～5節の位置、5枚葉の所で切ります。先端に近い3枚葉の位置では小さく短い花となります。
- ・剪定後化成肥料を株の周囲に50g

旭川市神楽岡樹林地に生育する樹木類

ミズナラ、カシワ、ハルニレ、オヒョウ、サワシバ、シラカバ、オニグルミ、ヤマグワ、カツラ、アズキナシ、イタヤカエデ、ハウチワカエデ、キタコブシ、シナノキ、オオバボダイジュ、ハリギリ等がありこれに混じってツリバナ、コマユミ、イヌエンジュ、タラノキ、エゾニワトコ、ツタウルシ、ツルアジサイなどがあります。



平成13年度 旭川市街路樹植栽一覧

資料提供：旭川市水みどり公園課

地 区	樹 種	本 数
春光台3・4道路線（春光台3条7・8丁目） 東6条・日の出橋道路線（東6条2・3丁目） 旭町・北門町9丁目道路線（旭町1条9丁目） 錦町通線（川端町3・4条4～5丁目）	エゾヤマザクラ	29
	ツリバナ	31
	ナナカマド	9
	イチョウ	12
新橋通線（川端町1～3条4丁目） 新橋通線（7・8条通1丁目、7・8条西1丁目）	ツツジ類	6株
	イチョウ	6
	イチョウ	6
	アジサイ	18株
10丁目道路3号線（永山7～8条20・21丁目） 宮下通2号線（宮下通13丁目） 西神楽2線5号18号線（西御料2・3条1・2丁目） 西神楽2線4号2号線（緑が丘南4条2丁目）	ツツジ類	4株
	ナナカマド	14
	ナナカマド	37
	イチョウ	49
3条通線（3条通8丁目） 3条通線（3条通1・2丁目） 南2・5条通間20丁目1号線（宮前通東） 19・20丁目間横通4号線（南1条通20丁目）	ナナカマド	1
	イチョウ	1
	ナナカマド	17
	ヤエザクラ	32
東旭川北3条6丁目1号線（東旭川北3条6丁目） 緑橋通2号線（6～8条通8・9丁目） 下4号・南1丁目道路線（東旭川町下兵村） 平和通歩行者専用道路（6～7条通7・8丁目）	ヤエザクラ	1
	ナナカマド	7
	ヤエザクラ	53
	ヤマモミジ	8
緑が丘通線（緑が丘南2条1丁目） 宮前通線（宮前東） 仮）宮前9、14、16、21（宮下通19丁目、宮前東） 仮）宮前10（宮下通19丁目、宮前東）	シナノキ(クヌシガイ)	31
	オオバボダイジュ	4
	イタヤカエデ	2
	ラベンダー	316株
	ナナカマド	22
	フユボダイジュ	49
	ギンカエデ	62